

再 評 価 調 査 書

I 事業概要						
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置工事）					
地区名	一般県道 <small>おかざきこうた</small> 岡崎幸田線					
事業箇所	<small>ぬかた こうた ひしいけ</small> 額田郡幸田町大字菱池地内					
事業のあらまし	<p>当該路線は、町の市街地の中央部を南北に走っており、役場や幸田駅等へ向かう歩行者や自転車の往来が多くある。さらに、当該路線南側にて隣接した箇所では2018年度に土地区画整理事業の施工が完了し、人口増加や商業施設の進出、またその利用客の増加も見込まれる。しかし現状は、歩道や自転車走行空間が無く、自動車・歩行者・自転車が錯綜している。</p> <p>このため、自転車歩行者道の整備をすることにより、歩行者や自転車等の安全な移動を確保するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者・自転車に対する安全性の確保 <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
計画変更の推移		事業採択時 (2005年)	再評価時 (2014年)	再評価時(2回目) (2019年)	変動要因の分析	
	事業期間	2005年度 ～2014年度	2005年度 ～2019年度	2005年度 ～2020年度	用地取得難航による事業期間の延伸	
	事業費(億円)	8.30	8.30	8.30	変動なし	
	経費 内訳	工事費	2.05	2.05	2.05	変動なし
		用補費	5.10	5.10	5.10	変動なし
その他		1.15	1.15	1.15	変動なし	
事業内容	歩道設置 (L=0.450km)	歩道設置 (L=0.450km)	歩道設置 (L=0.450km)	歩道設置 (L=0.450km)	変動なし	
II 評価						
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 路肩がない片側歩道の区間が存在し、歩道では歩行者と自転車、車道では自転車と自動車がか錯綜し、危険な状態である。 小学校の通学路に指定されているほか、中学生や高校生の通学ルートとして利用する姿も多くみられる。 <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業区間の南側に隣接した箇所にて土地区画整理事業が進んでおり、本路線の利用者の増加が予想される。 整備が完了した区間については、両側歩道となり歩行者等の通行に際し十分な幅員が確保されるとともに、通行が分散されることにより歩行者と自転車の錯綜が緩和され、安全性確保に寄与しているが、未整備区間については依然として危険な状況である。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学路などの周辺状況、交通状況に大きな変動はなく、歩行者等の安全な通行の確保の必要性に大きな変化は見られない。 				

判定	B	A：事業着手時に比べ必要性が増大している。 B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。																																																																																																																																																																																	
	【理由】 ・歩行者等の安全な通行の確保の必要性に大きな変化が無い。																																																																																																																																																																																		
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2004</th><th>2005</th><th>2006</th><th>2007</th><th>2008</th><th>2009</th><th>2010</th><th>2011</th><th>2012</th><th>2013</th><th>2014</th><th>2015</th><th>2016</th><th>2017</th><th>2018</th><th>2019</th><th>2020</th><th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>着手時計画</td> <td></td><td></td><td></td><td>3.6</td><td></td><td></td><td></td><td>1.8</td><td></td><td></td><td></td><td>2.9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>8.3</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td><td></td><td></td><td>3.6</td><td></td><td></td><td></td><td>1.8</td><td></td><td></td><td></td><td>1.7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>7.1</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td></td><td></td><td></td><td>3.6</td><td></td><td></td><td></td><td>1.8</td><td></td><td></td><td></td><td>1.7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.2</td><td>8.3</td> </tr> </tbody> </table> 【進捗率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.45</td> <td>0.35</td> <td>77.8%</td> <td>0.45</td> <td>77.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費(億円)</td> <td>8.30</td> <td>7.07</td> <td>85.1%</td> <td>8.30</td> <td>85.1%</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>2.05</td> <td>1.37</td> <td>67.1%</td> <td>2.05</td> <td>67.1%</td> </tr> <tr> <td>用地費</td> <td>5.10</td> <td>4.56</td> <td>89.4%</td> <td>5.10</td> <td>89.4%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.15</td> <td>1.13</td> <td>98.5%</td> <td>1.15</td> <td>98.5%</td> </tr> </tbody> </table> 【整備済みの内容】 ・2018年度までに、事業区間450mのうち350mの整備が完了している。 ・未整備区間においては、1件2筆の用地交渉に難航しているが、そのほかは契約済みとなっている。 【事後評価に準ずるフォローアップ】 ・施工済み区間においては、幅員が両側歩道となり通行が分散され歩行者と自転車の錯綜を緩和している。			2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計	工種 区分	調査・設計																			用地補償																			工事																			事業費 (億円)	着手時計画				3.6				1.8				2.9						8.3	実績				3.6				1.8				1.7						7.1	今回計画				3.6				1.8				1.7					1.2	8.3		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率 【②÷①】	計画 【③】	進捗率 【②÷③】	延長(km)	0.45	0.35	77.8%	0.45	77.8%	事業費(億円)	8.30	7.07	85.1%	8.30	85.1%	工事費	2.05	1.37	67.1%	2.05	67.1%	用地費	5.10	4.56	89.4%	5.10	89.4%	その他	1.15	1.13	98.5%	1.15	98.5%
			2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計																																																																																																																																																															
	工種 区分	調査・設計																																																																																																																																																																																	
		用地補償																																																																																																																																																																																	
		工事																																																																																																																																																																																	
	事業費 (億円)	着手時計画				3.6				1.8				2.9						8.3																																																																																																																																																															
		実績				3.6				1.8				1.7						7.1																																																																																																																																																															
		今回計画				3.6				1.8				1.7					1.2	8.3																																																																																																																																																															
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																																																														
		計画 【①】	実績 【②】	達成率 【②÷①】	計画 【③】	進捗率 【②÷③】																																																																																																																																																																													
延長(km)	0.45	0.35	77.8%	0.45	77.8%																																																																																																																																																																														
事業費(億円)	8.30	7.07	85.1%	8.30	85.1%																																																																																																																																																																														
	工事費	2.05	1.37	67.1%	2.05	67.1%																																																																																																																																																																													
	用地費	5.10	4.56	89.4%	5.10	89.4%																																																																																																																																																																													
	その他	1.15	1.13	98.5%	1.15	98.5%																																																																																																																																																																													
2) 未着手又は長期化の理由	・補償内容や代替地の選定などの用地交渉に時間を要したため。																																																																																																																																																																																		
3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・用地取得の難航。 【今後の見込み】 ・用地買収は面積ベースで約90%と進捗しております。残りの用地買収は2019年度(令和元年度)中に完了する見込みのため、2020年度の事業完了の実現は可能であると考えられる。																																																																																																																																																																																		
判定	B	A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：多少の阻害要因があるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。																																																																																																																																																																																	
	【理由】 ・用地交渉等に時間を要することが予想されますが、引き続き用地交渉を進めることにより事業完了が見込まれるため。																																																																																																																																																																																		

③事業の効果の変化	1) 貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析結果の変化	<p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析の算定基礎となった要因変化の有無】</p> <p>—</p> <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析結果】</p> <p>本事業は、局所的な交通安全対策事業であり、交通量推計条件に変化の考慮が困難な事業のため、算定不可とする。</p> <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析手法】</p> <p>—</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>—</p>
-----------	-----------------------------	--

2) 貨幣価値化困難な効果の変化

- ・貨幣価値化困難な効果としては、「事故多発箇所での事故数削減」、「交通弱者に対する安全性向上」、「自動車交通の多い区間における歩行者の安全性向上」があります。
- ・また、「貨幣価値化困難な効果 評価基準表」に基づき評価した評価値は、事業採択時は0.78、再評価時は0.67となっています。

【事業採択時の状況】

達成目標 (建設部方針)	貨幣価値化困難な効果 評価基準表		
	評価項目	基礎点	得点
③交通安全対策の強化 防 御 力	a)事故多発箇所での事故数削減に寄与する		
	<input type="checkbox"/> 事故危険箇所、緊急事故多発交差点、死傷事故率が500件/億台キロ以上の区間など、交通事故の危険性が非常に高い箇所を含む区間における交通安全対策事業に該当する	3	2
	<input checked="" type="checkbox"/> 死傷事故率が200～500件/億台キロの区間など、交通事故の危険性が高い区間における交通安全対策事業に該当する	2	
	<input type="checkbox"/> 死傷事故率が200件/億台キロ未満の区間における交通安全性の向上に資する事業に該当する	1	
	b)交通弱者に対する安全性向上が期待できる		
	<input checked="" type="checkbox"/> 通学路の安全性向上に資する事業又は交通バリアフリー法における特定道路または重点整備地区における事業、生活道路の交通安全対策エリアにおける事業、または自転車ネットワーク計画に位置付けられた事業に該当する	3	3
	<input type="checkbox"/> 沿線又は周辺に学校、病院、福祉施設、その他公共・公益施設等が位置する区間における交通安全対策事業に該当する	2	
	<input type="checkbox"/> その他交通弱者に対する交通安全向上が期待できる事業に該当する	1	
	c)自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上が期待される		
	<input type="checkbox"/> 計画交通量20,000台/日以上の3種道路、または計画交通量10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する	3	2
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画交通量4,000～20,000台/日の3種道路、または計画交通量4,000～10,000台/日の4種道路の歩道等の新設に該当する	2	
	<input type="checkbox"/> 計画交通量4,000台/日未満で歩行者利用のある道路における歩道の新設・拡幅に該当する	1	
合計	9	7	
評価値	得点/基礎点 = 7 / 9 = 0.78		

【再評価時の状況】

達成目標 (建設部方針)	貨幣価値化困難な効果 評価基準表		
	評価項目	基礎点	得点
③交通安全対策の強化 防 御 力	a)事故多発箇所での事故数削減に寄与する		
	<input type="checkbox"/> 事故危険箇所、緊急事故多発交差点、死傷事故率が500件/億台キロ以上の区間など、交通事故の危険性が非常に高い箇所を含む区間における交通安全対策事業に該当する	3	1
	<input type="checkbox"/> 死傷事故率が200～500件/億台キロの区間など、交通事故の危険性が高い区間における交通安全対策事業に該当する	2	
	<input checked="" type="checkbox"/> 死傷事故率が200件/億台キロ未満の区間における交通安全性の向上に資する事業に該当する	1	
	b)交通弱者に対する安全性向上が期待できる		
	<input checked="" type="checkbox"/> 通学路の安全性向上に資する事業又は交通バリアフリー法における特定道路または重点整備地区における事業、生活道路の交通安全対策エリアにおける事業、または自転車ネットワーク計画に位置付けられた事業に該当する	3	3
	<input type="checkbox"/> 沿線又は周辺に学校、病院、福祉施設、その他公共・公益施設等が位置する区間における交通安全対策事業に該当する	2	
	<input type="checkbox"/> その他交通弱者に対する交通安全向上が期待できる事業に該当する	1	
	c)自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上が期待される		
	<input type="checkbox"/> 計画交通量20,000台/日以上の3種道路、または計画交通量10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する	3	2
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画交通量4,000～20,000台/日の3種道路、または計画交通量4,000～10,000台/日の4種道路の歩道等の新設に該当する	2	
	<input type="checkbox"/> 計画交通量4,000台/日未満で歩行者利用のある道路における歩道の新設・拡幅に該当する	1	
合計	9	6	
評価値	得点/基礎点 = 6 / 9 = 0.67		

※道路・街路事業の評価マニュアル（令和元年9月 愛知県 都市整備課・道路維持課・道路建設課）による。

【変動要因の分析】

「事故多発箇所での事故数削減」

- ・事業採択時：推定平均事故件数 4.6 件、死傷事故率 226.4 件/億台キロで、得点は「2」
- ・再評価時：平均事故件数 2.8 件、死傷事故率 135.3 件/億台キロで、得点は「1」

「交通弱者に対する安全性向上」

- ・事業採択時：小中学校の通学路が含まれており、得点は「3」
- ・再評価時：小中学校の通学路が含まれており、得点は「3」

「自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上」

- ・本事業区間は4種2級道路で当該事業区間の計画交通量は4,000～10,000台/日であり、事前評価時の得点は「2」、再評価時の得点は「2」

判定	B	<p>A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。</p> <p>B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。</p> <p>C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>
	【理由】	<p>貨幣価値化困難な効果について、事業採択時、再評価時ともに評価値が基準の 0.6 を超えており、事業採択時とほぼ同様の事業効果が見込まれるため。</p>
III 対応方針（案）		
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後 年日） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>○事業区間における歩行者等の通行に係る安全性の改善状況</p>		
V 事業評価監視委員会の意見		
<p>一般県道岡崎幸田線の対応方針（案）[事業継続]を了承する。</p>		
VI 対応方針		
<p>事業継続</p>		